



平成29年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年2月8日

上場取引所 東

上場会社名 中越パルプ工業株式会社

コード番号 3877 URL <http://www.chuetsu-pulp.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 加藤 明美

問合せ先責任者 (役職名) 経営管理本部副本部長兼管理部長 (氏名) 大島 忠司

TEL 0766-26-2404

四半期報告書提出予定日 平成29年2月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第3四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第3四半期	69,077	△6.5	725	28.8	603	17.2	1,003	—
28年3月期第3四半期	73,863	△1.0	563	△51.4	515	△61.9	△215	—

(注)包括利益 29年3月期第3四半期 1,495百万円 (—%) 28年3月期第3四半期 △195百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第3四半期	7.52	—
28年3月期第3四半期	△1.66	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年3月期第3四半期	131,769	54,335	41.2	406.92
28年3月期	132,784	53,231	40.1	398.64

(参考)自己資本 29年3月期第3四半期 54,335百万円 28年3月期 53,231百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
28年3月期	—	2.50	—	2.50	5.00
29年3月期	—	2.50	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	2.50	5.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	90,000	△9.9	1,700	20.3	1,400	6.1	1,500	823.4
								11.23

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年3月期3Q	133,546,883 株	28年3月期	133,546,883 株
② 期末自己株式数	29年3月期3Q	17,919 株	28年3月期	12,570 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	29年3月期3Q	133,532,652 株	28年3月期3Q	129,956,790 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び当社が合理的であると判断した一定の前提に基づいた見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の実績等は、今後様々な要因の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

なお、業績予想に関する事項については、四半期決算短信(添付資料)3ページの「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(その他)に関する情報	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
(4) 追加情報	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 継続企業の前提に関する注記	9
(4) セグメント情報	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10
(6) 重要な後発事象	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

紙パルプ業界では、広告媒体の多様化や社会構造の変化に伴う書籍・新聞・チラシ等における紙需要の減少による市況の悪化が拡大し、厳しい経営環境が続いております。

このような状況下、当社グループは将来に亘る生き残りを賭け、①生産品種の構造転換、②包装用紙生産と製袋事業の発展強化、③エネルギー事業への参入、④コストダウン、⑤パルプ高度利用化計画、を五本の柱とする中長期成長戦略プラン「ネクストステージ50」を策定し、収益構造の磐石化を企図し全社一丸となって邁進しております。

当第3四半期連結累計期間の事業経過につきましては、販売価格の落ち込みが続く中、各工場における継続的なコスト削減及び木質バイオマス燃料発電設備の安定操業などにより収益力の向上に努めてまいりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の業績は以下のとおりとなりました。

連結売上高	69,077 百万円	(前年同四半期比 6.5%減)
連結営業利益	725 百万円	(前年同四半期比 28.8%増)
連結経常利益	603 百万円	(前年同四半期比 17.2%増)
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,003 百万円	(前年同四半期は 215 百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失)

(紙・パルプ製造事業)

◎ 新聞用紙

新聞用紙の販売につきましては、撤退メーカーからの振り替え需要や、先の熊本地震による他メーカーからの一時的な代替需要があったにも拘らず、新聞各社の発行部数の減少と広告減が影響した頁数の減少に歯止めがかからない状況が続いており数量・金額ともに前年を下回りました。

◎ 印刷用紙

印刷用紙の販売につきましては、価格修正の反動により荷動きが低迷した前年比では数量・金額とも上回りました。

◎ 包装用紙

包装用紙の販売につきましては、内需の伸び悩みの受け皿として輸出に傾注し、数量増には寄与しましたが、金額では前年を下回りました。

◎ 特殊紙・板紙及び加工品等

板紙及び加工品等の販売につきましては、懸命な販売努力にも拘らず、加工業者の在庫調整による影響や、旺盛であったインバウンド需要に陰りが見えて、数量・金額ともに前年並みとなりました。特殊紙に関しては他メーカーからの一時的な代替需要により数量・金額ともに前年を上回りました。

◎ パルプ

パルプの販売につきましては、市況の悪化及び円高に伴う大幅な輸出環境の悪化で前年より大幅に数量・金額ともに下回りました。

これらにより、当事業の業績は以下のとおりとなりました。

連結売上高	60,848 百万円	(前年同四半期比 3.4%減)
連結営業損失	745 百万円	(前年同四半期は 621 百万円の連結営業損失)

(紙加工品製造事業)

紙加工品製造事業は、当社連結子会社であった中越パッケージ株式会社が製袋事業持株会社の傘下子会社になり、持分法適用会社となったことにより減収減益となりました。

これらにより、当事業の業績は以下のとおりとなりました。

連結売上高	3,725 百万円	(前年同四半期比 62.1%減)
連結営業利益	21 百万円	(前年同四半期比 83.7%減)

(発電事業)

発電事業につきましては、川内工場の木質バイオマス燃料発電設備が平成27年11月に営業運転を開始したことにより増収増益となりました。

これらにより、当事業の業績は以下のとおりとなりました。

連結売上高	4,793 百万円	(前年同四半期比 122.5%増)
連結営業利益	1,114 百万円	(前年同四半期比 56.0%増)

(その他)

建設事業につきましては設備投資及び一般公共工事の減少により減収減益となりました。

これらにより、当事業の業績は以下のとおりとなりました。

連結売上高	11,480 百万円	(前年同四半期比 13.1%減)
連結営業利益	268 百万円	(前年同四半期比 8.3%減)

(2)連結財政状態に関する定性的情報

(総資産)

受取手形及び売掛金が690百万円減少したことなどにより、流動資産は前連結会計年度末に比べて2.5%減少し、47,060百万円となりました。また、固定資産は、主として有形固定資産が減価償却などで4,652百万円減少、投資その他の資産が製袋事業持株会社の傘下子会社を持分法適用会社としたことなどにより4,917百万円増加した結果0.2%増加し、84,709百万円となりました。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて0.8%減少し、131,769百万円となりました。

(負債)

支払手形及び買掛金が691百万円、短期借入金が1,779百万円増加したことなどにより流動負債は前連結会計年度末に比べて6.1%増加し、51,219百万円となりました。また、長期借入金が4,366百万円減少したことなどにより固定負債は16.2%減少し、26,214百万円となりました。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて2.7%減少し、77,433百万円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて2.1%増加し、54,335百万円となりました。これは主として利益剰余金が親会社株主に帰属する四半期純利益1,003百万円による増加、剰余金の配当667百万円による減少などにより459百万円増加したことによります。また、自己資本比率は、前連結会計年度末とくらべて1.1ポイント増加し、41.2%となりました。

(3)連結業績予想に関する定性的情報

平成29年3月期の業績予想につきましては、平成28年11月10日に公表しました「平成29年3月期第2四半期累計期間業績予想との差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」における業績予想から見直しは行っておりません。

今後、何らかの変化がある場合には適切に開示してまいります。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
(会計方針の変更)

(平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、当第3四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表に与える影響は軽微です。

(4) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,624	6,944
受取手形及び売掛金	24,330	23,639
商品及び製品	8,229	7,696
仕掛品	687	623
原材料及び貯蔵品	5,659	5,256
その他	2,735	2,906
貸倒引当金	△11	△6
流動資産合計	48,255	47,060
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	53,002	50,414
減価償却累計額	△31,619	△30,079
建物及び構築物（純額）	21,383	20,334
機械装置及び運搬具	248,381	244,038
減価償却累計額	△203,953	△202,365
機械装置及び運搬具（純額）	44,427	41,673
その他	12,988	12,146
減価償却累計額	△2,826	△2,834
その他（純額）	10,161	9,312
有形固定資産合計	75,972	71,319
無形固定資産		
その他	352	267
無形固定資産合計	352	267
投資その他の資産		
投資有価証券	5,250	8,609
その他	3,108	4,634
貸倒引当金	△154	△122
投資その他の資産合計	8,204	13,122
固定資産合計	84,529	84,709
資産合計	132,784	131,769

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	14,236	14,928
短期借入金	27,558	29,338
未払法人税等	286	169
賞与引当金	560	150
その他	5,612	6,632
流動負債合計	48,254	51,219
固定負債		
社債	2,000	2,000
長期借入金	23,153	18,787
固定資産撤去費用引当金	345	209
退職給付に係る負債	5,525	5,041
その他	274	176
固定負債合計	31,298	26,214
負債合計	79,552	77,433
純資産の部		
株主資本		
資本金	18,864	18,864
資本剰余金	16,253	16,253
利益剰余金	18,130	18,590
自己株式	△2	△3
株主資本合計	53,245	53,704
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	562	1,207
為替換算調整勘定	-	△29
退職給付に係る調整累計額	△576	△546
その他の包括利益累計額合計	△14	631
純資産合計	53,231	54,335
負債純資産合計	132,784	131,769

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
売上高	73,863	69,077
売上原価	60,746	55,899
売上総利益	13,117	13,178
販売費及び一般管理費		
販売手数料	4,802	4,904
運搬費	4,408	4,018
保管費	887	1,039
その他	2,454	2,489
販売費及び一般管理費合計	12,553	12,452
営業利益	563	725
営業外収益		
受取利息	6	22
受取配当金	141	149
為替差益	16	2
その他	109	101
営業外収益合計	273	276
営業外費用		
支払利息	224	192
持分法による投資損失	-	152
その他	96	52
営業外費用合計	321	398
経常利益	515	603
特別利益		
投資有価証券売却益	50	24
固定資産売却益	316	5
持分変動利益	-	898
その他	7	8
特別利益合計	374	937
特別損失		
固定資産除却損	924	282
特別退職金	10	23
投資有価証券評価損	-	3
災害による損失	241	99
その他	1	1
特別損失合計	1,177	410
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△288	1,131
法人税、住民税及び事業税	113	119
法人税等調整額	△186	7
法人税等合計	△72	127
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△215	1,003
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△215	1,003

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△215	1,003
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△0	560
退職給付に係る調整額	21	30
持分法適用会社に対する持分相当額	-	△98
その他の包括利益合計	20	492
四半期包括利益	△195	1,495
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△195	1,495

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報

[セグメント情報]

I 前第3四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	紙・パルプ 製造事業	紙加工品 製造事業	発電事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	59,339	9,501	2,154	70,995	2,868	73,863
セグメント間の内部 売上高又は振替高	3,678	322	—	4,001	10,342	14,343
計	63,018	9,823	2,154	74,996	13,210	88,207
セグメント利益 又は損失(△)	△621	134	714	226	292	519

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、運送事業、設備設計施工・修理事業、原材料事業、紙断裁選別包装事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益又は損失(△)	金額
報告セグメント計	226
「その他」の区分の利益	292
セグメント間取引消去	77
固定資産の調整額	△41
その他の調整額	8
四半期連結損益計算書の営業利益	563

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	紙・パルプ 製造事業	紙加工品 製造事業	発電事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	58,009	3,725	4,793	66,528	2,549	69,077
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,839	0	—	2,839	8,931	11,770
計	60,848	3,725	4,793	69,367	11,480	80,848
セグメント利益 又は損失(△)	△745	21	1,114	391	268	659

(注)「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、運送事業、設備設計施工・修理事業、原材料事業、紙断裁選別包装事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益又は損失(△)	金額
報告セグメント計	391
「その他」の区分の利益	268
セグメント間取引消去	61
棚卸資産の調整額	3
その他の調整額	1
四半期連結損益計算書の営業利益	725

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) 重要な後発事象

該当事項はありません。